

埼玉県まなびいプロジェクト協賛事業
羽生市学びあい夢プロジェクト事業

埼玉純真短期大学
第12回特別支援教育・発達障がい研究セミナー
「これからの特別支援教育を考える」



令和6年11月8日(土)

会場 埼玉純真短期大学
主催 埼玉純真短期大学
後援 埼玉県教育委員会・羽生市教育委員会・行田市教育委員会
加須市教育委員会・熊谷市教育委員会・羽生市幼稚園協会
羽生市保育連絡協議会・埼玉県特別支援教育研究会



目 次

目次	1
発刊のことば	2
開催要項	3
講演会報告	4
講演会レジюме	9
第1分科会	20
第2分科会	22
第3分科会	26
第3分科会レジюме	29
アンケート集計	33
あとがき	35
奥付	



発刊のことば

本学では、特別支援教育に関する理解を深め、より良い支援の在り方を考える機会として、「特別支援教育・発達障がい研究セミナー」を毎年開催しております。今年度は「これからの特別支援教育を考える」をテーマに、第12回目のセミナーを実施いたしました。

近年、特別支援教育の重要性がますます高まる中、支援のあり方や実践方法について、多様な視点から学ぶことが求められています。本セミナーでは、講演に先立ち、特別支援教育に関わる三つのテーマについて分科会を実施しました。

分科会①では、「知的障がいのない発達障がいの子どもを持つ親の気持ち」と題し、群馬県自閉症協会 高機能部会 ピゅあクラブ元代表の 秋元 恵利子氏と本学教員 布施が、対談形式で保護者の立場から見た支援の在り方について意見を交わしました。分科会②では、「乳幼児期の発達支援について」と題し、本学教員 片口と塚越が、早期の発達支援の重要性や実践方法について議論しました。分科会③では、「気になる子どもの対応について」と題し、本学教員 浅野、高橋が、教育現場における気になるこどもの具体的な対応策について考察しました。

分科会後の講演会では、本学の子ども支援センターと連携をいただいている医療法人岡田こどもクリニックの理事長 岡田 恭子氏をお迎えし、医師の立場から「子どもの健康と発達」をテーマにお話いただきました。医療の視点から発達支援を捉え、健康と発達の関係について深い知見を得る貴重な機会となりました。

本セミナーを通じて、特別支援教育に関わるさまざまな立場の方々と学びを深め、今後の支援の方向性を考えることができました。本報告書が、特別支援教育のさらなる発展に向けた一助となれば幸いです。

埼玉純真短期大学

学科長 布施 由起

開催要項

第12回研究セミナー「これからの特別支援を考える」

日 時 令和6年11月9日（土）
会 場 埼玉純真短期大学
主 催 埼玉純真短期大学
後 援 埼玉県教育委員会
羽生市教育委員会・加須市教育委員会・行田市教育委員会・熊谷市教育委員会
羽生市幼稚園協会・羽生市保育連絡協議会・埼玉県特別支援教育研究会
参加者 特別支援教育・発達障がい等に関心のある方
時 程

12：30～12：50	12：50～13：10	13：20～14：20	14：30～16：00
受付	開会行事	3分科会	講演

講演

子どもの健康と発達

医療法人 岡田こどもクリニック

理事長 岡田 恭子

分科会① 知的障がいのない発達障がいの子どもの持つ親の気持ち

群馬県自閉症協会 高機能部会 ぴゅあクラブ元代表 秋元恵利子
(発表者と本学教諭との対談形式)

埼玉純真短期大学 布施 由起・山田耕平

分科会② 乳幼児期の発達支援について

埼玉純真短期大学 片口 桂・塚越亜希子

分科会③ 気になる子どもの対応について

埼玉純真短期大学 浅野 瞳・高橋 努

子どもの健康と発達

医療法人 岡田こどもクリニック

理事長 岡田 恭子

講師紹介

平成 5 年群馬大学医学部卒業。群馬大学小児科関連病院勤務ののち、平成 15 年に栃木県佐野市で岡田こどもクリニックを開院。平成 27 年に児童発達支援事業所 SUN-Sano を開設。小児科専門医として、佐野市を中心に子どもの健康や発達に関する診察・相談等を行う。その他、小児科専門医、PCIT 機関内トレーナー、CARETM ファシリテーターとして活躍。

講演概要：

1. 子どもの発達の多様性

子どもの発達は一様に進むわけではなく、リンパ型、神経型、一般型、生殖型と、身体の部位ごとに異なるスピードで成熟していく（スキヤモンの発育曲線）。

- ・ リンパ型は 12 歳頃に成人を超えて増加し、その後落ち着く。
- ・ 神経型は生命維持に関する部分が早期に成熟し、その後緩やかになる。
- ・ 一般型（体の大きさなど）は生後すぐに急激に成長し、思春期にも再び成長する。
- ・ 生殖型は第二性徴から急激に伸びる。

2. 脳の成熟過程

脳も異なる部位が異なるスピードで成熟する。大脳辺縁系は 5～6 歳頃から急激に発達して、色々な感情が芽生えていろんなことに興味を持つようになっていく（車でたとえるとアクセル）。その一方で、抑制やコントロールを司る前頭前野はゆっくりと成熟する（車でたとえるとブレーキ）。思春期頃は特に欲望や情動の高まりに抑制系がついていけず、欲求のコントロールが効きにくい。

- ・ 脳幹と間脳は生命維持や三大欲求を司り、生まれたときに既にできあがっている。
- ・ 追って、記憶や感情、快楽、共感などに関与する大脳辺縁系が発達していく。
- ・ 欲望や情動などをコントロールするための大脳皮質（特に前頭前野）は最後に成熟する。

発達の中で、アクセルとブレーキのバランスが一時期崩れることは自然な現象である。このことを理解したうえで、幼児期にしっかりこの回路を強化しておくようなかかわりが大切である（昼間は思いっきり遊ぶ、暗くなったらゆっくり休む、など）。

3. 発達のマイルストーンを知る

認知や運動、言葉、社会性、情緒など、発達を考えるときには様々な切り口があるが、発達を見立てるためにはマイルストーンを知っておくことが重要となる。特に2つの共同注視は重要で、「親が伝えたい意図を読み取れる、親が思い描いているイメージを共有できる（共同注視①）」「自分の興味に他者の注意をひきつけることができる、自分の経験を他者に伝達することができる（共同注視②）」ことの指標となる。

- ・ 泣き声の分化（空腹、眠気、不快感等の状況による泣き分け）
- ・ 表情や情動の共有
- ・ 共同注視①（大人の指差しや視線の先を注視する）
- ・ ジェスチャーや手遊び
- ・ 言語的なコミュニケーション
- ・ 共同注視②（指さしで自分の欲求や関心の対象へ、大人の注意を向ける）

子どもの認知発達の展開には他者との情動的な関係が深く影響しており、子どもの意図にきちんと答えることが大切。基本的には大人側が表情豊かに、やや大げさなくらいに好意的な反応を返してあげることが大事。

4. 感情の発達

赤ちゃんの一番最初は「興奮して泣く」から始まり、それが快／不快に分かれ、2歳頃からはさらに細かく分化していく。しかし、5歳くらいでは相手の不快そうな表情をすべて「怒っている」と認識してしまう、という研究もある。そのため、周囲の大人が丁寧に共感をしたり、感情の描写をしてあげたり、といったことを通して、感情の整理を手伝ってあげることが重要である。

5. 特別支援教育の現状と神経発達症

特別支援教育を受けていない子どもの中でも、特別な配慮を必要としている子どもは増加傾向にあり、決して少ない人数とは言えない。配慮を必要としている子どもの中には、診断がついている子ども、ついていない子ども含まれる。「障害がある」ということは、支援者側から見て「何かの補いをしてあげたい部分がある」と理解するとよい。

神経発達症（自閉スペクトラム症(ASD), 注意欠陥多動症(ADHD), 限局性学習症(SLD)）はいずれも「脳の働きが違う」ということ。本人にとって不利益になるかどうかは社会との兼ね合いによる。たとえば同じ ASD の人の中でも、脳の働きや学習スタイルはもちろん人によって異なる。

6. 自閉スペクトラム症の理解

私たちは普段、「情報を受け取る⇒脳の中で意味を理解する⇒行動する」という一連の流れで行動しているが、ASD の人の脳ではそれぞれのプロセスに違いがある。ASD の人は潜在的学習（情報の全体を大きくとらえて理解する）よりも明示的学習（狭い範囲のことを深く理解する）のほうが得意である。情報の受け取り方が違うために、行動面でも様々な違いが出てくる。

- ・ 視線が合いにくい
- ・ 暗黙の了解がわからない、言葉を字義通りに理解する
- ・ ルーティンでの学習が得意
- ・ はっきりしていないこと、経験がないことなどは苦手

ただし、ASD の特徴の現れ方は一人ひとり違う。

7. 自閉スペクトラム症の学習スタイルに合わせた工夫

子どもが言われたことの意味を推測しなくても伝わる言葉で「わかりやすく伝える」ことが有効。

- ・ 何やってるの！！⇒出かける時間なので、ゲームの電源を切ってください
- ・ いい加減にきなさい！！⇒（走り回らないで）手をつないでください
- ・ そこに座ってくれる？⇒椅子に座ってください
- ・ 危ないでしょ！⇒（椅子に立たないで）座ってください

他にも、目に見える形で説明をすること（絵カード、コミック会話、ソーシャルストーリーズなど）や、具体的にその場で起こっているやり取りの中で「こういうときは〇〇って言うんだよ」と教えることもポイントとなる。子どもの特性に合わせて、「できる」「できた」「わかった」という体験を積み重ねてほしい。

8. 診断をする意味

- ・ 子どもの特性を知る、学習スタイルを知る
- ・ 誤学習を防ぐ

- ・ 大人が困っているかどうかではなく、本人の不安や混乱を解消するために
- ・ 子ども自身が自分のことをする助けとして
- ・ 信頼できる他者（大人）の存在も重要

9. 子どもたちの健康

A) 睡眠

- ・ 睡眠は記憶に関わり、前頭前野の活動にも影響
- ・ 睡眠不足は肥満のリスク因子となる
- ・ 就寝時刻の遅い、睡眠時間の短い子どもほど学業成績が悪い
- ・ 起きたら日光を浴びさせる

B) 食事

- ・ 医の前に食あり、食の前に農あり
- ・ 旬のもの、その地域のもの、自分にあったものを
- ・ 幼児期に味覚が形成されるため、4歳くらいまでに様々な味を経験させることが重要
- ・ 重ね煮（鍋の一番下に昆布や海藻を入れ、その上にきのこ類、さらに野菜を重ね、中火から弱火で煮る）で簡単に汁物が作れる

C) 遊び

- ・ 遊び：自発性に基づいていて、「楽しい」と思えること
- ・ 遊びは、実体験を通しての学びの機会でもある
- ・ 遊びを通して、子どもと養育者の基盤が作られる
- ・ 遊びの中で大切なのは、子どもにリードを取らせること

10. PCIT（親子相互交流療法）より

子どもにリードを取らせるときに避けるスキル

- ① 命令（子どもから主導権を奪ってしまう）
- ② 質問（答えを求める＝会話の主導権を握ってしまう）
- ③ 禁止や否定的な言葉（否定的な言葉で問題が改善することはあまりない）

子どもにリードを取らせるときに使うスキル

- ①具体的にほめる
- ②繰り返す
- ③行動を言葉にする（実況中継）

上記に「感情を言葉にする」を加えるとよい

- ・ 感情をコントロールするためには、感情を知ることが必要
- ・ 感情を否定せず、共感する
- ・ 同調はしないが、カームダウンの手助けをする
- ・ 大人側も自分の揺れている気持ちを落ち着けるようにして、手本を見せる

文責：埼玉純真短期大学 山田耕平

子どもの健康と発達

埼玉純真短期大学
第12回特別支援・発達障がい教育セミナーにて
令和6年11月9日



医療法人 岡田こどもクリニック
小児科医 岡田恭子
CAREファシリテーター
PCIT機関内トレーナー

36の基本運動

子どもを環境の整った
空間で自由に遊ばせた
ときに発生した運動の
種類が36個みられた

このうち昨日は何個
運動しましたか？



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

7

素敵な子どもたち

- 色々な子どもたち
- それぞれ ちがう
- それぞれが 素敵な存在

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

2

遊ぶ ⇨ 食べる

- まず昼間にしっかりと遊ぶ。
- 手先を使った細かい動きを必要とする遊びや
- 身体を使ったダイナミックな遊び

- 遊べば腹が減る。
- 安全安心な食事をしっかりと食べる

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

11

健康とは

- 1948年に発効されたWHO憲章では、前文において「健康」を次のように定義しています。
- 「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。（日本WHO協会訳）」

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

4

遊ぶ ⇨ 食べる ⇨ 寝る

- まず昼間にしっかりと遊ぶ。
- 手先を使った細かい動きを必要とする遊びや
- 身体を使ったダイナミックな遊び

- 遊べば腹が減る。
- 安全安心な食事をしっかりと食べる

- 昼間の疲れが出て夜は早くぐっすり寝る。朝早く目覚める

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

12

子どもたちの健康

- 遊ぶ・食べる・寝る

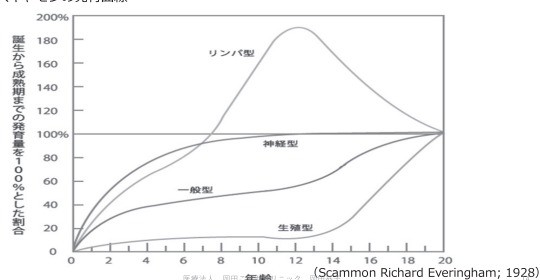


医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

5

人の発達は一様に進むわけではない

スキヤモンの发育曲线



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

(Scammon Richard Everingham; 1928)

遊ぶ

- まず昼間にしっかりと遊ぶ。
- 手先を使った細かい動きを必要とする遊びや
- 身体を使ったダイナミックな遊び



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

脳は部位ごとに違うスピードで成熟していく

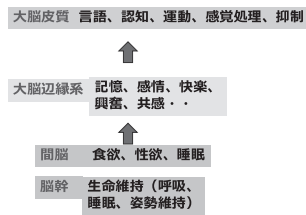
人の脳は最後に成熟

コントロールする力はゆっくり育つ

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

17

脳の三重構造



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田春子

21

発達のマイルストーンを知っておくことは大事



三

25

人の脳

- ・人が人らしくあるためには、**大脳皮質（特に前頭前野）**の発達が重要。
- ・大脳皮質（前頭前野）は、情動、欲望、感情、記憶、運動など、**全ての抑制・コントロール**を行う。

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田春子

22

言葉の発達（コミュニケーションの発達）

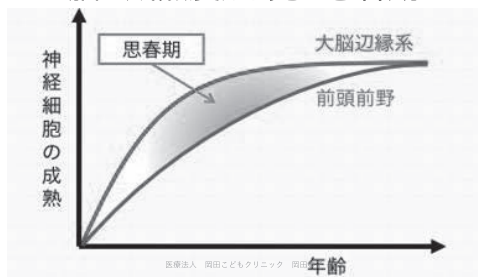
言語の発達のマイルストーン

前言語的コミュニケーション	
0～3か月	泣き声の分化：空腹、眠気、不快などの状況に応じて泣き分ける。
2, 3か月	表情・情動共有、リズムによるやりとり 、クーイング（非叫喚発声；泣き声ではない「クー」というような発声の出現）
4～6か月	発声遊び：クーイングやガーリング（うがいのような発声）を反復
8～10か月	標準喃語（反復喃語）の出現：発声器官をコントロールできるようになったことで、「パブパブ」のように母音と子音から成る定型音が反復される。
9～12か月	共同注視①：大人の指差し、視線が支持する対象を見る。
10～12か月	バイバイ、パンザイ、チョウダイ、ドウモなどのジェスチャー、手遊びをする。
12か月前後	擬言語発声（ジャーゴン）：母国語のような“音調”の発声。世界共通の喃語から言語に独特な音声の発達に移行したことを示唆。

医療法人 岡田こどもクリニック『保育の心理学』中野茂（2013）より

27

脳の成熟度から見た思春期



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田春子

23

言葉の発達（コミュニケーションの発達）

言語の発達のマイルストーン2

言語的コミュニケーション	
12か月	最初の言葉（初語、マンマ・ブーなど）：歩行の開始と同時期
12～18か月頃	一語文：アッパ、チョウダイ、など単語で文章を表現（8～11語/月）
12か月頃から	共同注視②：指さして自分の要求・関心の対象へ大人の注意を向ける。
12～15か月	自分の名前が分かる、呼ばれると返事をする。
18～24か月	無いものを「アイ」と言える。自己主張が始まる。
18～24か月	50語を超えたらから語彙獲得（名づけ）のスパート（20～40語/月）
2歳前後	二語文（電報文）：「○○チョーダイ」「ブーキタ」など、文法（語順）の獲得を示す。およそ50～200語を話す。
2歳以降	文章（多語文）を話す。「ナニ」を連発する。自分の名前が言える。
3歳以降	幼児語を卒業。「こ・そ・あ・ど」、心的動詞（思う、考える）の使用。
4歳頃から	未来（明日）、次に過去（きのう）について話せる。
語彙数は6歳までに15,000語、12歳までに40,000語に達する。	

医療法人 岡田こどもクリニック『保育の心理学』中野茂（2013）より

28

思春期はコントロールが効かない時期

欲求（アクセル）が勝り、抑制（ブレーキ）が効きにくい

幼児期にこの回路を強化しておくことが大事



アクセル：遊び
体を使った活動
興奮と覚醒
ブレーキ：鎮静 リラックス

昼間思いっきり遊び
暗くなったらゆっくり休む

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田春子

24

共同注視①

- ・9～12か月頃）親が指さしたり見たりしている対象を、子どもが見る。親が伝えたい意図を読み取れること、親が思い描いているイメージを共有できることを示す。



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田春子

発達の様々な側面

認知発達（知的発達）
運動発達
言葉の発達（コミュニケーションの発達）
社会性の発達
情緒の発達（感情の発達）
その他、いろいろな切り口があります。

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田春子

25

共同注視②

- ・（1歳頃）から）子どもが対象を指さして、または見て、親もそれを見ることを求める。
- ・自分の経験は他者に伝達可能であること、自分の興味に他者の注意をひきつけることができる、という信念を持ったことを示す。



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田春子

30

養育者とのかかわりが重要

・指差しとは、表示機能、すなわち何か自分の興味のひかれるものを他者に指し示し、その興味を他者とも共有しようとする機能の発現である。

子どもが興味あるものを指差ししたときに、きちんと子どもの意図に応えることも重要

子どもの認知発達の展開には、他者との情動的な関係が深く影響している

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

31

脳の働きが違くと・・・

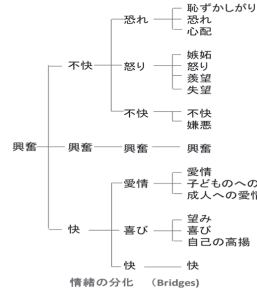
脳の配線のちがいで
情報が多すぎて処理しきれない
あることに優れていたりする
あることがうまくいかない
世の中の見え方がちがう
周りの人の配慮や辛抱強さが助けになる
そして、
自閉症を持っていることで
すごいことがおきる

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

39

感情の発達

新生児 → 乳児 → 2才 → 5歳



大切なのは、
ネガティブな感情
の処理をすること

大人が受け入れ、
言葉で整理
(言語化)
すると、感情が
社会化される。

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

32

ASDの場合

・・・わかりにくいことが多い
ASDについての知識が十分でない

社会的不利は
本人の問題ではない
社会が作り出す

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

40

特別な教育的配慮が必要な子どもたち

(通常学級に在籍する児童・生徒のうち・・・)

小中学校で学習面または行動面で著しい困難を示す：8.8%
高等学校で学習面または行動面で著しい困難を示す：2.2%

学習面：聞く、話す、読む、書く、計算する、推論する

行動面：不注意、多動・衝動性、対人関係やこだわり等

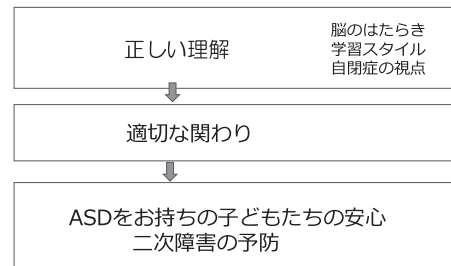
2022年 文部科学省調査より

・・・少数ではない

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

33

正しい理解が必要



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

41

神経発達症（発達障がい）

自閉スペクトラム症（ASD）

- 社会的コミュニケーションの障害
- パターンした行動、こだわり、興味関心の偏り
- 感覚過敏

注意欠如多動症（ADHD）

- 不注意
- 多動
- 衝動性

限局性学習症（SLD）（学習障がい）

- 「読む」「書く」「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

脳の機能（働き）の「ちがい」

それぞれ異なるもの。支援はそれぞれに異なる。

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

34

自閉スペクトラム症って
どんなもの？



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

42

脳の働きが違くと・・・

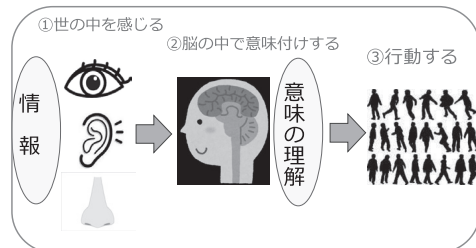
・<https://www.youtube.com/watch?v=NNK7xe0f8xA>

「すごいことがおきる」 「Amazing Things Happen」

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

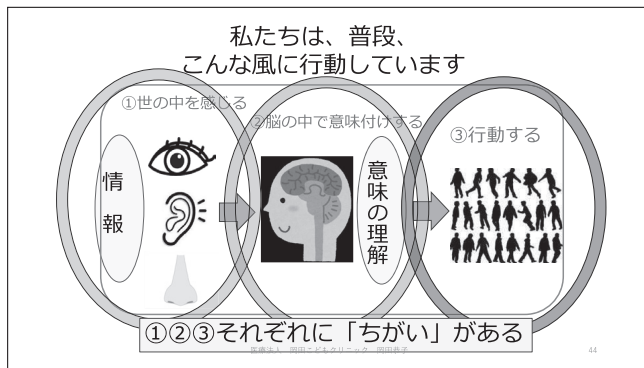
38

私たちは、普段、
こんな風に行動しています



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

43



情報を大まかに得るタイプの脳では…

何してるの?!

・約束の時間が過ぎている
・部屋が散らかっている
(状況の理解)
・習い事に行く準備ができていない
(次の予定とやらなければならないことを把握)
・お母さんが「何してるの?!」と言ってる
(相手の行動に注目)
・怒ってるよね…
(表情の理解)

ごめんなさい。
すぐ片付けるよ

情報の取り方の違い

潜在的学習 明示的学習

全体を大づかみに捉えて
意味を理解

一部を詳しく捉えて
意味を理解

狭い範囲で情報を取る
周りの状況を含めて情報を理解することは苦手だが、
焦点を当てた部分については深く理解ができる

ASDを持っていると
こちらが得意

一部に焦点をあてて情報を捉える脳のタイプでは…

何してるの?!

「何しているの?」って
お母さんの言葉にのみに
焦点を当てて情報を得た…

ゲームだよ

そして言葉通りに意味を理解した
(何してるか答えるべき)

情報の取り方が違うので、こういった
ことに「ちがい」がある

社会的
コミュニケーション

限定的・反復的
な行動と興味
・感覚の特異性

知っておいて欲しい 感覚の特異性

- 音の感じ方
- 物の見え方
- 皮膚感覚
- 味覚

などの感覚に特性をもつ

自閉症スペクトラム～小道モコの場合
小道モコ/絵・文 (クリエイツかもがわ)

脳の違いにより、行動に違いがでる

社会的
コミュニケーション

限定的・反復的
な行動と興味
感覚の特異性

- ・視線が合いにくい
- ・暗黙の了解が分からない
- ・理解したルールはしっかり守る
- ・話し言葉からの理解が苦手
- ・身振りや表情の理解が難しい
- ・言葉を字義通りに理解する
- ・自分から人に伝えることが苦手
- ・同じ言葉の繰り返し
- ・身振りや表情の乏しさ
- ・具体的で明確なことが得意
- ・変化が苦手
- ・パターン、繰り返しを好む
- ・見えないことや経験していない事の理解が難しい
- ・ルーティンでの学習が得意
- ・感覚過敏・鈍麻
- ・興味関心のあるものに良く集中する

同一性保持について

- 「変化」は日常生活にはあたりまえ
- 「変化」のない生活はない
- 初めから「変化」を持たせること
- 「変化」についても丁寧に教えていく

覚えておくこと…

- ・自閉スペクトラム症の特徴の現れ方は
ひとり違う
- ・誰でも一人ひとり違うのと同じ

興味関心について

- 興味を広げることももちろん大事…
- でも本人の興味関心も大切に
活用していく方が多いことが多い
- 自閉スペクトラム症の成人女性のお話し
「小さいころから、興味があるものがあったから、
問題行動をする暇がなかった」

自閉スペクトラム症の 学習スタイルに合った 工夫は？



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

54

分かりやすく言い換えてみよう

Let's try!

- 危ないでしょ！ → (椅子に立たないで) 座って下さい
- いい加減にして！ → (走り回らないで) 手をつないで下さい

子どもが言われたことの意味を推測しなくても伝わるようにすることがポイント！

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

59

学習スタイル・行動の理由を考えて 対応を考える

- ・視線が合いにくい
- ・暗黙の了解が分からない
- ・理解したルールはしっかり守る
- ・話し言葉からの理解が苦手
- ・身振りや表情の理解が難しい
- ・言葉を字義通りに理解する
- ・自分から人に伝えることが苦手
- ・同じ言葉の繰り返し
- ・身振りや表情の乏しさ

社会的 コミュニ ケーション

- ・具体的に明確なことが得意
- ・変化を受け入れることが苦手
- ・パターン、繰り返しを好む
- ・見えないことや経験していない事の理解が難しい
- ・ルーティンでの学習が得意
- ・感覚過敏・鈍麻
- ・興味関心のあるものに良く集中する

限定的・反復的 な行動と興味 感覚の特異性

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

55

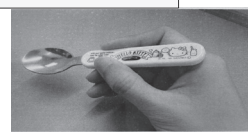
目で見える形にして具体的に伝える

チェックリスト

リュックにいれるもの

- ・ハンカチ ☐
- ・ティッシュ ☐
- ・おんion ☐
- ・すいとう ☐

絵カードやお手本



スケジュール

ワークシステム

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

60

得意な学習方法は？・・・明示的学習

具体的・肯定的
目に見える(視覚支援)
イメージしやすい伝え方

一部を詳しく捉えて
意味を理解



わかりやすく伝える

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

56

社会的コミュニケーション

【ポイント】
具体的に教える・伝える

教え方や伝え方は
年齢や発達の状況によって違う
“段階に合わせて”

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

61

わかりやすいですか？

- ・ 何やってるの！！ → 何ってゲームですけど
- ・ いい加減にしない！ → いい加減にするって何？
- ・ そこに座ってくれる？ → 座らなくてもよってこと？

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

57

段階に合わせて・・・その場で教える 伝える



「やめて」と
言うことを教える

「かして」と
言うことを教える

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

62

分かりやすく言い換えてみよう

Let's try!

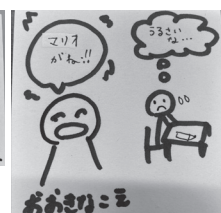
- ・ 何やってるの！！ → 出かける時間なので、ゲームの電源を切ってください
- ・ そこに座ってくれる？ → 椅子に座ってください

子どもが言われたことの意味を推測しなくても伝わるようにすることがポイント！

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

58

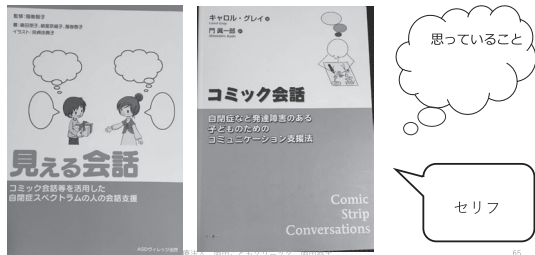
段階に合わせて・・・目に見える形で 説明する



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

63

段階に合わせて・・・目に見える形で説明



65

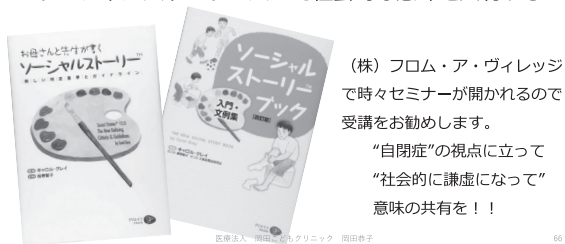
信頼できる他者（大人）の存在

- ・自己認知支援に欠かせない他者の存在・・・親・祖父母・保育士・教諭・近所の人など誰でも良いが、
- ・子どもをできない存在としている大人ではなく
- ・子どもを認め、対等に扱う大人の存在
- ・障がいがあってもなくても「ありのままの自分」で良いと

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田昌子

70

段階に合わせて・・・意味を伝える ソーシャルストーリーズ™で社会的な意味を共有する



66

ありのままでいい：本当のバリアフリー



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田昌子

71

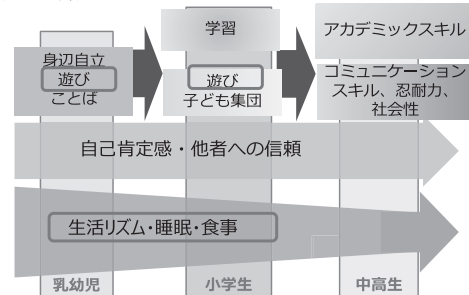
わかる・わかった、できる・できた という経験の積み重ね



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田昌子

67

発達課題



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田昌子

73

診断はなぜするの？

- ・子どもの学習スタイルを早期に知り、
- ・その子に合った学習スタイルで
- ・丁寧に育てていく
- ・怒る・叱るの教育は、悪循環を生むだけ
- ・誤学習の予防

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田昌子

68

子どもたちの健康

遊ぶ・食べる・寝る



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田昌子

74

自己認知支援

- ・診断は本人のもの
- ・自分のことを知る一助となる
- ・自分の“得意”も“苦手”も
- ・そして“苦手”に対する対応法“も”知っていくことを支援する
- ・自己権利擁護のため

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田昌子

69

睡眠

こんなデータもあります

- ・睡眠は記憶にかかわる
- ・睡眠は前頭前野の活動にかかわる
- ・睡眠は肥満のリスク因子
- ・就寝時刻の遅い子どもほど、また睡眠時間の短い子どもほど成績が悪い

量・・・睡眠時間
質・・・睡眠リズム（生体リズム） } どちらも重要

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田昌子

75

子どもの睡眠・生活習慣を大事にする

子ども何時に眠り、何時に起きているか知る。
子どもに正しい生活習慣を教える。早寝早起きではなく→早起き早寝

- 1 早起き・早寝
- 2 朝食をしっかり食べる
- 3 昼間は光を浴びて体を動かす
- 4 夕方に昼寝をしない
- 5 夜に外出しない
- 6 夜にテレビ、パソコン、ゲームをしない
(ブルーライトに注意)
- 7 カフェイン飲料を夜に飲まない
- 8 寝る前に激しく運動しない
- 9 暗く・静かなところで眠る。入眠儀式を大切に。

・まず 1 週間、がんばって早起きをさせる。
・起きたら日光を浴びさせる。窓辺で外に顔を向けさせる。
・1 ～ 2 週間で、体内時計が朝型になる。
・週末の寝坊には注意。体内時計が一気に遅れる。

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田希子

76

2.発酵食品+『まごわやさしい』食材をとって腸内環境を整える



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田希子

引用：すこやか親子21

81

子どもたちの健康

・遊ぶ・食べる・寝る



77

献立は楽ちん！ ごはん+具たくさん味噌汁



82

医の前に食あり

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田希子

78

食品を選ぶときのポイント



管理栄養士 川上洋子

まずは、味噌、塩を見直してみましょう

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田希子

83

食事

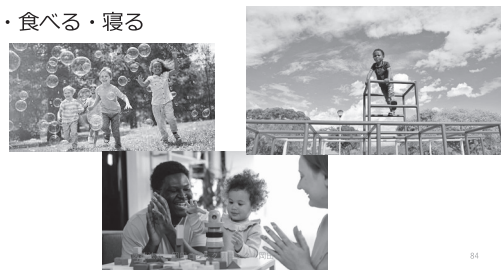
・あなたは、あなたの食べたものでできている

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田希子

79

子どもたちの健康

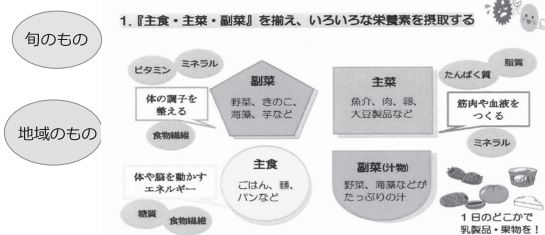
・遊ぶ・食べる・寝る



84

健康な体を作るために

1.『主食・主菜・副菜』を揃え、いろいろな栄養素を摂取する



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田希子

80

遊びとは？

- ・遊びとは自由な行動である
- ・遊びとは自発性に基づいてやるものであり、
- ・主体である人間が「これはおもしろそうだ。」とか「やってみよう。」という気持ちを持った時に初めて遊びは遊びになる。
- ・自己報酬性
(「楽しい」という感覚など自分 に報酬を与えること)

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田希子

85

大切なこと ～遊びと学び～

- 学びは実体験（感覚）に伴うものであることが大切
- 机の上だけで学ぶ文字、言葉、数は、実体験や生活と結びついて推論や応用に結びつく
- 遊びの中でたくさん学ぶことができる
- むしろ、遊びの中にこそ、本当の学びがある

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

86

子どもリードだと・・・？

子どもが主体的に活動する
子どもの創造性を育てる
子どもの自尊心が上がる
楽しい
温かみが増える
子どもの自発性が育つ
大人の顔色を伺って過ごすことが減る

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

97

遊びの大切さ

遊びを通して

子どもたちは学ぶ
自分の周りの世界を理解する
新しいスキルを獲得する
他者とやりとりをする
許容される行動や求められる行動について学ぶ
子どもと養育者との関係の基盤がつくられる

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

93

子どもにリードを取らせる時

避けるスキル	①命令 ②質問 ③禁止・否定
--------	----------------------

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

98

遊びの大切さ

遊びを通して

子どもたちは学ぶ
自分の周りの世界を理解する
新しいスキルを獲得する
他者とやりとりをする
許容される行動や求められる行動について学ぶ
子どもと養育者との関係の基盤がつくられる

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

94

子どもにリードを取らせる時避けるスキル

①命令

直接的命令

「○○しなさい、○○して」

間接的命令

「○○したらどう？」

「○○したほうがいいんじゃない？」

子どもから主導権を奪う
子どもが従わないと、
お互いに嫌な気持ちになることがある

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

99

では、どんな風に
遊ぶと良いのでしょうか？



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

95

子どもにリードを取らせる時避けるスキル

②質問

実際に普段の会話の7割は質問。なのに・・・

どうして質問しない方がいいの？

- 質問＝答えを求める・・・会話の主導権が親側に
- 質問には隠れた命令や反対の意見が含まれていることがある
- 「○○していいの？」＝「○○してはいけないよ」
- 「○○しないの？」＝「○○しなさいよ」

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

100

大切なのは、
子どもにリードを取らせること

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

96

子どもにリードを取らせる時避けるスキル

③禁止や否定的な言葉

- 「やめて」「ダメ」「いけない」「○○しない」
- 「また、○○したの！」などの言葉は避ける

どうして禁止はしない方がいいの？

- 否定的な言葉によって問題が改善することはあまりない
 - 否定的な行動に注目してむしろその行動を増やすことになる
 - 親も子どもも嫌な気持ちになる
- * ちょっとしたやめてほしい行動への対処は後ほど少し触れます

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

101

子どもにリードを取らせる時

使うスキル	①具体的にほめる ②くりかえし ③実況中継
-------	-----------------------------

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

102

具体的に褒めるヒント2（例文）

いい姿勢だね。
上手に色を塗ってるね。
上手にブロックをつけました。
素敵なお城を作ったね。
素晴らしい作品を描いたね。
立派に挨拶できたね。
ちょうどいい声の大きさだね。

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

107

子どもにリードを取らせる時使うスキル ①具体的にほめる

「すごい」などのほめ言葉は嬉しいもの。

具体的にほめると

- ・大人が何をよいと思っているか、伝えることができる
- ・その行動がまた起こる可能性を増やす
- ・子どもとの関係をよりあたかなものにする
- ・大人が自分の行動に注目していることが、子どもにわかる

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

103

子どもにリードを取らせる時使うスキル ②くり返す

- ・子どもの適切な言葉をくり返す

- ・子どもが会話の主役になる！
- ・子どもの話を聞いていることが伝わる
- ・子どもの会話が増え、上達する
- ・思春期の子どもにはさりげなく

不適切な言葉はくり返さない（注目しない）

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

108

子どもにリードを取らせる時使うスキル ①具体的にほめる

例) 「はさみを上手に使ってるね。」
「太郎くんが、ここに黄緑を使うアイデア、ステキだとお母さん思うな。」
「お母さんに赤い折り紙をくれてありがとう。」



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

104

子どもにリードを取らせる時使うスキル ③行動を言葉にする（実況中継）

子どもの適切な行動を言葉で表現すると…

- ・子どもが主役になる
- ・子どもに関心を向けていることを示す
- ・話し方の手本を示すことにもなる
- ・言葉や概念を教えることができる
- ・大人も、感情的に何かを言うより客観的に冷静な態度で接することができる

* 不適切な行動は言葉にしない（注目しない）

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

109

子どもにリードを取らせる時使うスキル ①具体的にほめる

例) 手をつないでえらいね。

これで安心して駐車場を歩けるわ。

「待って！走らないで！

危ないでしょ！」という否定・禁止より

効果的



医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

105

子どもにリードを取らせる時使うスキル ③行動を言葉にする

スポーツ中継のアナウンサーのように

どうやるの？



例1) 「ゆいちゃんが、赤いボールを持ちあげました」

例2) 「ボールを持ったね」

例3) 単語がまだ少ない子どもには、「ボール」とか「もった」とか子どもの行動や興味に関する言葉をかけてみましょう

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

110

具体的に褒めるヒント（例文）

自分からお片付けできてえらいね。
座ってお利口さん。
お母さんに作ってくれて嬉しいな。
ここを赤で塗るあなたの考え、ステキだね。
「お願い」と言えてえらいね。
落ち着いて遊んでいてすごいね。
集中して作っていていいね。

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

106

子どもにリードを取らせる時使う3つのスキル

「おうち作ってるの」
「手伝って！」

くりかえし
実況中継
具体的にほめる
耳で聴いて
目でみて
感心して

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田恭子

111

感情を言葉にする

- ・うれしそうね
- ・自信をもってね
- ・悔しいだね
- ・悲しいね
- ・怒っているんだね
- ・残念だね
- ・・・・

感情をコントロールするには、まず感情を知ることから
そして、感情は否定せず、共感する
ただし、同調しない

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田香子

112

ささいな困った行動には 選択的注目：注目を使い分ける

ささいな困った行動は、スルーする、そして反対の良い行動をほめる！

例) 気を引きたくて、わざと大きな声を出していたら、

→ 注目しない

静かな声で話し始めたら、

→ すぐに注目して具体的にほめる

「静かな声で話して、お母さん、うれしいわ」

子どもは
注目されるのが
大好きだから！

★普段の適切な
行動によ〜く注
目しておいて
ね！

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田香子

117

小さい頃から感情を落ち着ける練習をする

- ・ゆっくり近づくか見守る（見離さないこと）
- ・お母さん、ここにいてあげるよ（安心の言葉）
- ・こう回すところにつけられるよ（助けの言葉）
- ・今、とても悲しいんだよね（感情のラベリング）
- ・背中をさすってあげるなど（なだめる）
- ・落ち着いたら「落ち着いてきたね、今度は〇〇してみよう」（切り替えのヒントを出す）

感情は否定せず、共感する。
同調はしないが、カームダウンの手助けをする。

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田香子

113

危険、他害には？

止める（放っておかないで） 大人は冷静に

- 例) 他の人をたたく → さっと手を止める、離す
他の人を噛む → 離す、噛んでよいものを渡す
自分を噛む → 噛んでよいものを渡す
他の人を蹴る → 離す、蹴らない方法を伝える
（「座って」とか「こっちに来て」などと言う）
家具の上に立つ → 「降りて」とか「座って」と言う、
さっと抱いて降ろす

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田香子

118

大人も感情を落ち着けるようにし、手本を見せる

- ・「今、混乱してきたわ」（自分の状態をチェックする）
- ・深呼吸、筋弛緩療法など（自分を助ける）
- ・「子育てってホント大変なものよ」
「私は頑張っているわ」
「大変でも、必ず落ち着く時間がやってくるわ」
（独り言を言い、自分に安心を与える）
- ・「疲れてる」「悲しいわ」（自身の感情のラベリング）
- ・「大丈夫よ、落ち着いてきたわ」
（自分に繊細になり、自分をなだめる）
- ・その場にいられないなら、子供に断って場を離れる

自身の感情を否定しない。自分をカームダウンすることを心がける。

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田香子

114



<参考> CARE™プログラム

C : Child A : Adult R : Relationship E : Enhancement

どこでも、誰でも、
子どもとかわかるすべての大人に向けた

子どもとの絆を深めるプログラム

今お話しした内容は子どもとの関係を深めるプログラムのエッセンスです。
避けるスキル・使うスキルをロールプレイで練習し、さらに
上手な指示の出し方についても学ぶことができます。
CARE-JapanのHPを見てみてください。（CARE-Japan.org）

安全な遊びの場面では、
子どもについていくように楽しく遊ぶ

避けるスキル ①命令
②質問
③禁止・否定

使うスキル ①具体的にほめる
②くりかえし
③実況中継
+ 感情の言葉

まずは1日3分心がけましょう
だんだん自然に使えるようになっていきます

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田香子

115

PCIT(親子相互交流療法)

P : Parent C : Child I : Interaction T : Therapy

親子の関係をよくし、
親の言うことを聞けるようになる治療
子どもの問題行動、子育ての親の悩みを解決する治療

CAREの元になっているエビデンスのある治療法の一つです。
より深刻な問題を解決する治療法ですが、このエッセンスは
どんな親子にも役立ちます。
PCIT-JapanのHPを見てみてください。（pcit-japan.com）

* 避けるスキルを1日中使わない訳ではありません

例えば 親「カバンからタオルを出して（命令）」
親「ハサミを床に置いたら危ないよ（否定）、
机に置きなさい（命令）」
親「お風呂の時間だからおもちゃを箱にしまっ
て（命令）」
親「今日、何が食べたい？（質問）」

「教える時間（しつけ）」「親リードの時間」も必要です

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田香子

116

PCITのヒントが詰まった育児書



まとめ

子どもは色々、
そのままです晴らしい
子どもの健康を支える
大切なのは“良い関係”と
“遊び”

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田春子

122

まず、子どもから幸福にしよう。
全てはその後に続く・・・
A.S. ニイル

医療法人 岡田こどもクリニック 岡田春子

123

第一分科会報告書

知的障がいのない発達障がいの子どもをもつ親の気持ち

日時：2024年11月9日 13:20～14:20

司会：山田耕平

登壇者：

群馬県自閉症協会高機能部会ぴゅあクラブ元代表 秋元恵理子氏

埼玉純真短期大学 布施由起

要旨：

知的障がいのない発達障がいの子どもを持つ親の体験について、群馬県自閉症協会高機能部会「ぴゅあクラブ」元代表である秋元恵理子氏と、本学教員の布施との対談形式で、親としての苦悩や支援の重要性について話し合われた。

知的障がいのない発達障がいの子どもを育てる親は、子どもの診断が遅れがちであることをはじめ、周囲や社会からの誤解を受けやすい、「育て方が間違っているのでは」という自責感を抱きやすい、孤立しやすいなど、多くの困難に直面する。そのため、親自身を支えるコミュニティや支援者の存在が、大切な心の支えとなる。

1. 診断に至るまでの不安と困難

初めての子育てに対する戸惑いがありつつも、乳児期から他の子と異なる様子（例：抱っこを嫌がる、他の子どもと関わらない、名前を呼んでも反応しない）には気がついていった。しかし明確な判断ができるわけでもなく、不安を抱えながら過ごしていた。

特に、知的障害のない発達障がいの子どもは、特性が見えにくいため診断が遅れがちで、健診などでも「様子を見ましょう」で終わってしまうことがしばしばある。そのため、親は「自分の育て方が悪いのが原因では」と自らを責めてしまうことも多い。

2. 社会との関わりによるストレス

幼稚園では友達と遊ばず一人で過ごすことが多く、孤立しがちで、周囲とトラブルになることもあった。別の保育園に転園してからは、周囲の理解もあり、比較的落ち着いて過ごすことができた。親の立場としては、周囲の大人の対応が変わるとこんなに状況が変わるのか、と驚いた。

小学校でも、人付き合いの苦手さから孤立しがちであった。加えて休み時間の過ごし方もわからず、戸惑うことが多かったが、その一方で教頭先生が「図書館で過ごしていい」

と配慮してくれるなど、理解のある人物からの支援を受けられることもあった。

3. 親の心理的負担

現代においても、発達障がいの子どもの持つ母親は、祖父母や周囲から「育て方が悪い」と責められることが未だにあり、精神的に追い詰められ、孤立しているケースは少なくない。そのため、似た境遇の母親と出会うことで救われることが非常に多い。たとえ状況は大きく変わらなくても、「同じ思いを経験した人がある」と知るだけでも、精神的にはかなり楽になる。

4. 支援の重要性

母親の調子が悪くなってしまうと、子どものケアが難しくなる。子どもにとっての最善を考えるにあたって、母親自身の健康も欠かすことはできない。特に、知的障がいのない発達障がいは特性が理解されにくく、学校に通っている期間も、就職した後も苦勞が多い。障がいについて職場に説明しても「よくわからない」と言われてしまうこともある。

このような多くの困難に直面しやすい、発達障がいの子どもの持つ親にとっては、困りごとを打ち明けることができる相談相手や、経験を共有することができる自助グループ・コミュニティの存在は大きな助けとなる。

文責：埼玉純真短期大学 山田耕平

研究セミナー（第2分科会）

テーマ 「様子をみましょう」と言われたら．．．

心配を不安に変えない子育てのヒント

この講義は、発達支援と乳幼児健康診断に焦点を当て、1歳6ヶ月健康診断の役割や自閉症の早期発見のためのチェックリスト、指差しの発達、生活リズムの重要性、愛着関係の構築、保護者とのコミュニケーション方法、トイレトレーニング等、乳児期にどのような援助を行えばよいか、具体的なポイントを説明します。

1.1 歳6ヶ月健康診断のポイント

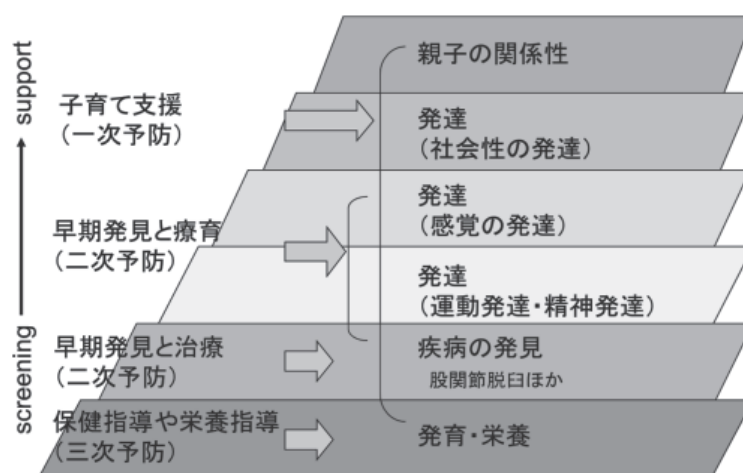


図 1-2 乳幼児健診の主要課題の重層性

厚生労働省 乳幼児健康診断事業 実践ガイド（平成 29 年度版より抜粋）

1歳6ヶ月健診は、子どもの発育や健康状態を確認するための重要な健康診断であり、厚生労働省の指針に基づいて行われます。

● 留意点

発達が気になる場合の早期発見と早期支援に繋げていくこと

2.自閉症のチェックリスト

自閉症の早期発見のために使用されるチェックリストで、子どもの行動や反応を観察し、特定の特徴を確認するためのもの。

- 抱っこやスキンシップを嫌がる
- 目を合わせても逸らす
- 一人でも平気で過ごせる
- 単語を話さない
- 身振り手振りで伝えようとしない
- 名前を呼んでも反応しない
- 遊びに混ぜろうとすると怒る
- 痾癩が 30 分以上と長い
- おもちゃ本来の遊びをしようとせず、整然と並べて遊ぶ
- 毎日同じ遊びを繰り返す
- 特定のものに過剰に集中する

チェックリストを使用して、子どもの行動を観察し、特定の特徴がどの程度頻繁に見られるかを確認する。これにより、早期に支援が必要かどうかを判断する。

留意点

- これらのことは、子どもの発達段階の途中で見られる特徴でもある
- チェックリストに当てはまるからといって自閉症の判断はできない
- 保護者の心配を受け止め、適切な支援を考えるために使用する

特別な配慮について

- 1 歳半健診や 3 歳児健診になかなか行けない保護者への助言と指導

「その子にあった子育てのコツを一緒に考える姿勢を持つ。」

「伝えることをゴールにしないように心がける。」

発達支援

発達支援は、特に障害のある子どもたちやその家族を対象に、子どもの成長や発達を促進するための支援を行うことを指します。

3.様子を見る＝子どもの変化を気に掛けること

1. 周囲とのコミュニケーションについて

（表情の豊かさ、興味への視線、声への反応、共感を求める割合）

2. 聴力について

3. 身長・体重などの成長に遅れがないか

4.日常生活で気に掛けて欲しいこと

生活リズムを整えることは、発達が気になる子どもだけでなく、すべての子どもにとって重要である。

要点

- ・毎日同じ時間に起き、寝ることを心掛ける
- ・生活リズムが崩れると、元に戻すのが難しい。

生活リズムを整えることで、子どもの発達を支える基盤を作る。特に発達に課題のある子どもにとっては、リズムの安定が重要である。

まとめ

保育者ができる子育て支援

保護者とのコミュニケーションにおいて、子どもの良いところを伝えつつ、発達の課題も適切に伝えることが重要である。

要点

- ・子どもの良いところを3回に2回は伝える。
- ・トラブルや問題点は、他の良い点の後に伝え、「こういう援助をすると上手くいくようだ。」というヒントと共に保護者に話すようにする。

- ・保護者が話したいことを話せる雰囲気を作る。

留意点

- ・保護者が話を聞いてくれるためには、保護者自身が自分の子育てを認められていると感じることが重要。
- ・保護者が子どもの話を避ける場合、無理に話そうとはせず、日常的な会話、（挨拶は欠かさない）など、何気ない話題でつながりを持つことが大切。

(1) トイレトレーニングについて

要点

- ・集団生活の中でトイレトレーニングを進める。
- ・おむつ替えの際にトイレに座る習慣をつける。
- ・無理やりトイレに連れて行かない。

留意点

どの位の時間オムツが濡れていないか、排尿の間隔が1時間以上空いているか確認する。

(2) 集団生活の中の個別的な対応について

1日中その子どもだけに時間をかけるのは難しいが、10分でも良いので他の先生の協力を得て、その子のためだけの時間を作るようにする。

どの子どもにも一人ひとりの特別があることが平等で公平なかかわりとなり、個々の育ちを保障し、子ども同士が集団で育つ土台となっていくことを忘れずに、子どもとの日々を積み重ねていくことを大切にしたい。

文責：埼玉純真短期大学 片口 桂

第三分科会報告書

テーマ：気になる子どもの対応について

日時：2024 年 11 月 9 日 13:20～14:20

講師：准教授 高橋 努

助教 浅野 瞳

要旨：

気になる子どもの行動に対し、応用行動分析学の理論を基礎としたティーチャーズ・トレーニングについて講義を行った。ティーチャーズ・トレーニングは、発達障害の子どもにも定型発達の子どものにも適用可能なプログラムで、「ほめる」という肯定的な注目の力を利用することで、子どもとの関係改善・行動の変容が期待できるものである。

ほめ方のコツ、効果的な声掛けの方法についても触れ、現場で活用できる支援方法について学習を行った。

1. ティーチャーズ・トレーニングとは

ティーチャーズ・トレーニングは、特に保育園の先生や学校の先生など、現場の先生向けに、ペアレント・トレーニングを原型として 2006 年に保育現場、教育現場向けに開発され、2010 年に豆の木クリニックで実践開始されたという歴史がある。行動療法に基づいたプログラムで、行動の結果を変えることを目的としている。このティーチャーズ・トレーニングで学ぶスキルは、発達障害がある子どもはもちろん、定型発達の子どものにも生かせるものである。

2. 肯定的注目と否定的注目

注目には非常に大きなパワーがある。大人の注目には大きなパワーがあり、子どもたちは注目されたことを繰り返しやすいと言われる。トレーニングはこの「注目される」という力を活用する。

ほめることは子どもへの「ご褒美」。幼児期は具体的な物のご褒美から始まり、次第に言葉による褒め、表情やジェスチャーによる承認へと変化していく。これは単なる「ご褒美付け」ではなく、子どもの成長に合わせた自然な発達のプロセスとなる。

① 肯定的注目

ほめる、認める、笑顔、うなずく、子どもの行動を肯定的に言葉にする。

② 否定的注目

子どもの気になる行動に対して改善させようと注意する。ため息をつく、眉間にシワを寄せる、睨む、怒りのオーラを発散させるなど。

3. 行動とは

行動の条件は、目に見えるもの、耳で聞こえるもの、回数を数えられるもの、動詞（「～する」）で表現できるもの。具体的な行動の例としては、手を洗う、靴をそろえる、残さず食べる、「ごちそうさま」と言う、適切な距離でテレビを見ることです。「おおざっぱな子」「優しい子」「やんちゃな子」「慎重な子」といった性格的表現ではなく、具体的な行動で表現することが重要。

4. 行動を3つに分けて考える

※ワークシートを使い、行動を分類する個人ワークを行った。

行動は「好ましい行動」「好ましくない行動」「危険な行動」の3つに分類できる。

《好ましい行動》：褒めることができる内容、望ましい行動、あなたが好きだと感じる行動、今していてさらに増やしたい行動

《危険な行動》：人や物を傷つける行動、許しがたい行動
いくら指示してもやめないしつこい行動

《好ましくない行動》：危険な行動に該当しないすべての望ましくない行動
あなたが嫌いな行動。今していて減らしてほしい行動

5. ほめ方のコツ

- ① やるべきことを完全にやり終えたとき（パーフェクト）にほめるのではなく、25%でほめること
→好ましい行動は、子どもが「しようとしている時」「始めた時」「している時」「指示に従った時」「行動が前より良くなった時」など、様々な段階でほめることができる。100%の達成を待つのではなく、25%の達成段階からほめ始めることで、ほめるチャンスが増える。
- ② 能力や性格ではなく、行動をほめること
→「いい子だね」という抽象的な表現ではなく、「靴が揃えられたね」など、何をほめられているのかが明確に伝わる言葉を選ぶ。
- ③ 近づいて視線を合わせてほめる
→叱る時に目を合わせがちだが、ほめるときこそ目を合わせる。
- ④ 短く具体的にほめること
→長々と話すと何を褒められたのかわからなくなってしまう。短く具体的に。
- ⑤ 皮肉や批判は避けること
→「でも」という否定的な言葉を付け加えないことが大切。「片付けよくできたね、でも文句言わなきゃよかったのにね」ではなく、「片付けできたね」とシンプルにほめる。もし改善点を伝えたい場合は、「文句言わずにできたら100点だったのにね、でもできたよね」のように、最後に肯定的な言葉で締めくくると肯定的な言葉が記

憶に残りやすい。

⑥ 表情や声

→保育者が嬉しく感じていることが伝わるよう、穏やかで明るい声でほめる。

6. 実践のために

① 職員間で子どもの行動の捉え方をすり合わせる

保育現場では、一人で担任を受け持つ場合は子どもの対応がスムーズにいくことも、複数の職員が関わると状況が変化することがある。同じような声かけや注意をしても、職員によって子どもの反応が異なることがあるため、職員間で子どもの行動の捉え方や対応方法について、しっかりとすり合わせる 것이大切。

② 褒める基準を統一する

職員によって子どもの反応が異なる場合、効果的な対応ができている職員の方法を詳しく観察する。例えば、子どもの右 45 度前に立って視線を合わせて話しかけるなど、具体的な立ち位置や声のトーン、接し方の違いを分析し、職員間で共有することが大切。

③ 子どもの行動を細かく観察し、小さな進歩も認める

ADHD 児や自閉症傾向の強い子どもへの対応では、「困った」と引いてしまうのではなく、職員間で前向きな話し合いを持つことが大切。「この方法がうまくいった」「これを試してみよう」といった自由な意見交換ができる環境づくりが重要。これは形式的な会議ではなく、日常的な情報共有の中で「今日はどううまくいった」「このやり方が効果的だった」といった経験を共有し合うことで、現場での対応の統一性が生まれてくる。

施設や保育現場では、職員間での認識の統一が不可欠である。ある職員は好ましい行動と考え、別の職員は気にする必要がないと判断すると、対応にずれが生じる。好ましい行動、好ましくない行動、危険な行動の認識にずれはないか、ずれが生じた場合、施設や保育現場としてどう対処するか、これらの認識をどのようにすり合わせていくかが大切になる。

文責：埼玉純真短期大学 金 美珍

第12回 特別支援教育・発達障がい研究セミナー 「これからの特別支援教育を考える」

分科会③ 気になる子どもの対応について

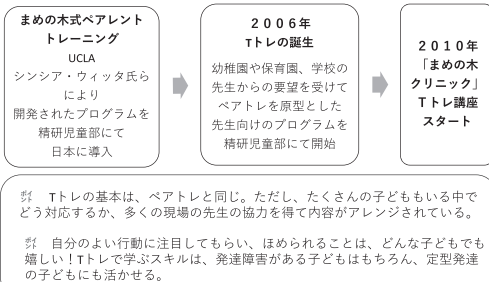
令和6年11月9日(土)
13時20分～14時20分
埼玉純真短期大学
准教授 高橋 努
助教 浅野 瞳

ねらい

分科会③では、「気になる子どもの対応」がテーマ。
気になる子どもの行動に対して、皆さんは日頃どのように
対応していますか？
「やめさせない!!」「できるようにさせない!!」
と思うと、どうしても指摘や注意が増えてしまいますよね。

本日取り上げる「ティーチャーズ・トレーニング」は、
子どもの行動に焦点を当て、「ほめる」をベースにした
対応から子どもとの関係改善、行動の変化を目指します。
1つでも「これは使える!」と思う支援を覚えていって
ください。

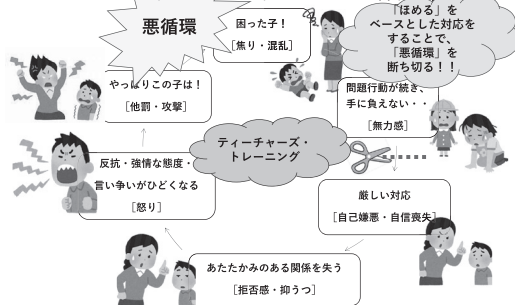
ティーチャーズ・トレーニング



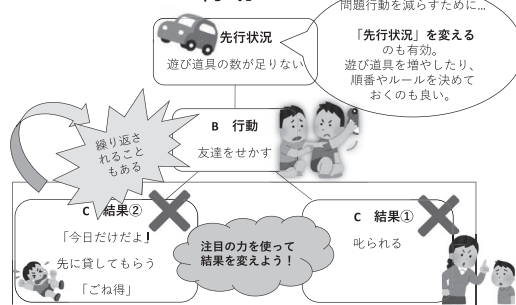
こんな子ども、いませんか？



子どもと大人の間の「悪循環」

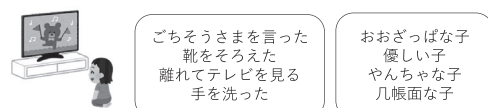


行動のABC

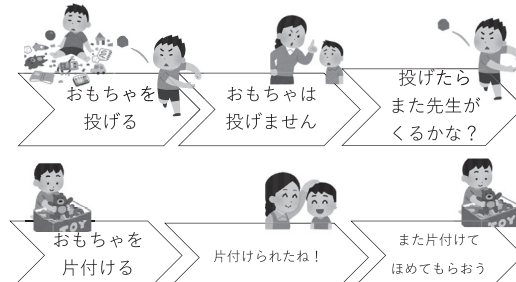


行動とは

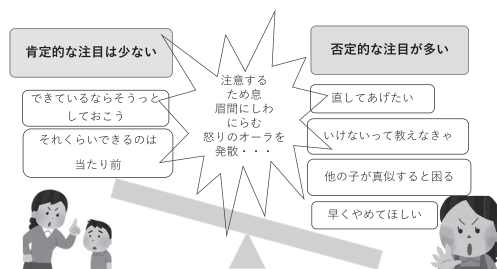
1. 性格ではなく、「行動」に注目する。
2. 行動の条件
 - ① 具体的に目に見える・耳で聞こえる
 - ② 回数を数えられる
 - ③ 動詞「～する」で表現できる。



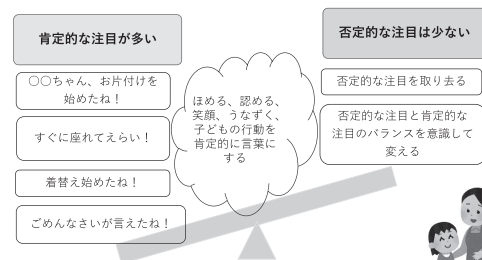
「注目」とは・・・？



対応に困っている子どもに対して... 「否定的(ネガティブ)な注目」



Tトレでは... 「肯定的(ポジティブ)な注目」



行動を3つに分けましょう (1)

好ましい行動	好ましくない行動	危険な行動
望ましい行動	望ましくない行動	人や物を傷つけるような行動
あなたが好きだと思う行動	あなたが嫌いな行動	許しがたい行動
今して(できて)いて、さらに増やしたい行動	今して、減らしてほしい行動	あなたが譲れないと感じる行動
当たり前かもしれないが、今して(できて)いて、やめてほしい行動	ワークで考えてみましょう！	いくら指示してもやめない、しつこい行動

「好ましい行動」を増やすために、ほめましょう！

ほめる・認める・感謝する・興味や関心を示す
その行動に気づいていることを知らせる・次の活動に誘う

好ましい行動に肯定的な注目を与えると・・・

- ①その行動を増やすことができる。
- ②子どもは認められていると感じ、自信につながる。
- ③子どもは他のことでも協力的になる。

穏やかな関係の中で行動を改善していく！

行動を3つに分けましょう (2)

① 行動を書き出すときのポイント

- ・対象の子どもが実際にしている、したことのある行動を書く。
- ・動詞を使って、「～する」で書く。具体的に簡潔に書く。
- ・複数の行動をまとめて書かず、一つずつ書く。

例)

- ＊「歯を磨いて、着替える」⇒「歯を磨く」「着替える」(好ましい行動)
- ＊「文句を言いながら片づける」⇒「文句を言う」(好ましくない行動)、「片づける」(好ましい行動)

ほめるとは...?

バリエーション	例
ほめる	「お血洗い頑張ったね」「片付けきれいにできたね」「早いね」「やったね」「さすが！」
励ます	「もうここまでできたの?」「あと少し! (具体的な数がわかる方がよい)」
次の活動に誘う	「教室までかけこしよう」「3Pを読んでもくれる?」
興味や関心を示す	「何を作ったの?」「これはなんている車?」 自分がしていることに興味をもってもらえると子どもは嬉しい
その行動に気づいていることを知らせる	「〇〇しているんだね」 子どもの行動を実況中継のように言葉にする。簡単にすぐできる
スキンシップ	そっと方や背中に触れる、握手、ハイタッチ 喜ぶ子どもが多いが、苦手な子どもには、言葉や表情で注目をする
喜ぶ、驚く	「きれいに拭いてくれて嬉しい!」 「もう準備したの?早くてびっくり!」
ジェスチャー	うなずく、手を振る、拍手、OKやグッジョブサイン
感謝する	「ごみを拾ってくれたのね、ありがとう」 大人の役に立たたと感じると自信が育つ

行動を3つに分けましょう (3)

② こんな効果もある

- ・「行動」を記録することで、対象の子どもをそれまでより、冷静に見ることができるようになる。
- ・見逃していた「好ましい行動」に気が付くことができる。
- ・問題行動が多いと思っていた子どもも、許しがたい「危険な行動」は意外と少ないことに気が付く。

この分類作業は、Tトレの基本です！
練習して、「行動」を分類することに慣れていきましょう！
子どもへの対応に迷った時は、常にこの作業に戻りましょう！

ほめ方のコツ (1)

① やるべきことを完全にやり終えたとき (パーフェクト) に褒めるのではなく、25%でほめよう！

- ・好ましい行動をしようとしている時
 - ・始めたとき
 - ・しているとき
 - ・指示に従ったとき
 - ・行動が前より良くなっているとき
 - ・文句を言いながらも「やらなきゃと気づいたとき」
- 100%できたらほめようと思っていると、
ほめるチャンスは逃してしまいます。
25%でほめると、ほめるチャンスが増えます。

好ましい行動の例

特別なことではなく、些細な日常の出来事でOK!!	身の回りのことをする	人の関わり	良い習慣やモラルにそって行動する
課題に取り組む大人の指示に従う	自分で靴をはく	5分間、友達と仲良く遊ぶ	挨拶する
言いつけられたことができる	自分で靴を下駄箱に入れる	友達とおもちゃを一緒に使う	「ありがとう」と言う
課題の一部でもきれいに正しくする	テーブルの上を片づける	友達に本を見せてあげる	「ごめんなさい」と言う
勝手にしないで、先生に許可を求めている	4歳児が、歯磨きの時協力的洋服を着替える「着替え始める」	友達にクレヨンを貸す	正直に本当のことを言う
1文字丁寧に書く		先生に絵を見せる	周囲や安全に配慮して行動する
読み聞かせの時静かに聞いている	その子らしく楽しむ	呼ばれたら来る	ちよどよい、声の大きさを話す
始まる時間までに部屋に戻ってくる	静かに絵本を読む	困ったことを先生に話す	道を渡る時に立ち止まる
	一人で遊ぶ	怒っているときに叩かないで言葉でいう	あなたが手が離せない時、待つことができる

ほめ方のコツ (2)

② 伝わるようにほめる

ほめているのに、思ったような反応が返ってこない.....
漠然とほめても、子どもは何を褒められたのか分からないこともあります。

「ほめられた」と実感できるほめ方をしましょう！

・近づいて、視線を合わせる

注意するときだけ「先生の目を見て」ではNG。

ほめるときこそ、目を合わせましょう！

子どものそばにいき、目の高さも合わせましょう！

(子どもを呼んでもOK)

好ましくない行動・危険な行動の例

好ましくない行動	危険な行動
友達と口げんかをする	うさく騒ぐ
ぐずる	悪口を言う
不平を言う	先生なんか大嫌いと言う
汚い言葉を使う	からかう
手伝いをするように言っても無視をする	人の話に割り込んでくる
課題に取り組まらずに落書きをしている	教室に戻るように言っても遊び続ける
必要以上に大声を出す	ずねる
服を脱ぐ	よくない行動でも、許しがたいというほどでなければ、「好ましくない行動」に入れます。

ほめ方のコツ (3)

・能力や性格ではなく、行動をほめましょう

「何をしたときにほめられるのか」わかるようにほめよう。

・褒めるときは短く具体的に

長々とほめると何をほめられたのか分からなくなります。メッセージはシンプルに。

例) ×「いい子だね」

○「手を洗えたね」

(目に見えている) 具体的な行動を言葉にしよう

ほめ方のコツ（４）

・皮肉や批判は避ける

例）×「手を洗えたね。いわれなくてもできればもったいいのに」「先生のいう通りにしたらできたでしょう」

→できたことを先生の手柄にしない！！

・こんなことも心掛けて！

表情：微笑みたくなったらそうしましょう。

無理に笑顔を作らなくてもよいですが、
しかめ面ではなく穏やかな顔で！

声の調子：あなたが嬉しく感じていることが伝わるよう、
穏やかで明るい声でほめましょう！



効果的な指示の出し方（３）

④ 落ち着いて、口調はきっぱりといいきる

○「宿題を始めるよ」「お皿をテーブルに運んでね」
「さあ、寝る時間よ」

×「宿題する？」
「お皿をテーブルに運んでくれる？」
「もう寝たら？」



効果的な指示の出し方（４）

⑤ 選択させる

「〇〇しなさい」ではなく、
「〇〇にする？それとも△△にする？」と伝えると、
子どもは思わずどちらかを選んでしまうかもしれません。
子どもが「指示」に従いやすくするために、
とても役立ちます。

【片付けることが目標】

「ひとりで片付ける？」「先生と一緒に片付ける？」

【トイレに行くことが目標】

「今トイレに行く？おやつあとにする？」



指示について考えよう

指示とは・・・

１．コミュニケーションの道具。お説教とは違う。

待っていても「好ましい行動をはじめない時」

「好ましくない行動をやめない時」に「やるべき行動」の
「内容」を伝えること。

３．真剣な声と態度が必要。

４．CCQで指示を繰り返す

C: Close (クローズ) 近づいて

C: Calm (カーム) 穏やかに

Q: Quiet (クワイエット) 声のトーンを抑えて静かに

お片付けするよ
ごはんの時間だよ

効果的な指示の出し方（５）

⑥ どんな小さな行動でも、従おうとした時、 従った時は、すぐに褒める（２５％ルール）

「さっさとやれば怒ったり怒られたりしないのに」
「いつもいつもなんで」「まったくもう」は言わない、
飲み込もう。



効果的な指示の出し方（１）

まずは深呼吸。

自分の気持ちを落ち着けよう

① 子どもの注意を引く

近寄ってこどもの名前を呼ぼう

② 視線を合わせる

子どもをそばに呼ぶか、近寄って目を見る。

離れたところや背後からは呼ばないよ。



失敗例①

指示を出すときは、疑問文などの問いかけはNGです。
子ども自身が選択できる場面と、
指示の場面をよく見極めましょう。

NG「寝たほうがいいんじゃない？」

☞「まだ眠くないから寝ない！」と言われそうです。

OK「一人で寝る？一緒に寝る？」という選択か、
「あと５分で寝ます」とはっきり指示を出しましょう。

効果的な指示の出し方（２）

③ 指示は短く具体的に

次にやるべき行動をはっきりと

○「宿題を始める時間だよ」「TVを消して、ご飯です」

×「何する時間だっけ？」「考えてごらん」

「いつものことでしょう？」

「ちゃんとやりなさい！」



失敗例②

何が言いたかったんだっけ...？

先生：「シャツが出ているよ、しまてね」

A君：「えーめんどくさい」

先生：「でも、シャツが出ているとかっこ悪いよ」

A君：「かっこ悪くてもいいよ」

先生：「みんなしまっているでしょう？」

A君：「僕はみんなじゃないもん、先生嫌い」

先生：「その言葉使いはなあに？先生悲しいな」

A君：「ふん、嫌いなもんは嫌いだよ！ばーか！」

先生：「なんですって？！」

・・・あれ、私、何が言いたかったんだろう。

「何が言いたかったんだっけ…」
とらないために
～ブローケンレコードを試そう！～

先生：「シャツが出ているよ、しまつてね」

A君：「えーめんどうかい」

先生：「シャツ、しまつてね」

A君：「あとでやるよ」

先生：「シャツ、しまつてね」

A君：「おんなじこと繰り返して、ロボットみたい！」

先生：「シャツ、しまつてね」

A君：「うるさいな、やるよ！」

先生：「シャツ、しまえたね！えらい！」

子どもの言葉に
振り回されなくなります。
ポイントは、穏やかに
感情的にならずに、穏やかに
同じ言葉を繰り返して
伝えること

最後に・・・

- ・今日ご紹介した内容は、ごく一部です。
- ・そして、生活の中で一人ひとりの子どもに合わせて、アレンジされていくものです。
- ・肯定的注目が日々の保育現場に広がることで、子ども達の笑顔や、先生方の笑顔が少しでも増えることを願っています。



ご清聴ありがとうございました。

参考文献・引用文献

『保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング』

上林靖子監修

河内美恵・楠田絵美・福田英子 編（2016）

中央法規、97

『困っている子の育ちを支えるヒント』

井濤知美（2018）

ミネルヴァ書房、171

第12回研究セミナーアンケート

年代	所属	ツール	分科会について	分科会感想	講演について	講演会感想	その他
10歳代～20歳代	児童養護施設	チラシ	良かった	障がい児をもつ親の気持ちについて理解する貴重な機会でもとても良かった	とても良かった	現場で活かそうなはなしもあり貴重な時間だった	
10歳代～20歳代	児童養護施設	チラシ	とても良かった	子どもを褒めることが大事ということがよく分かりました。	とても良かった	貴重な時間でした	
50歳代～60歳	特別支援学校	インターネット	とても良かった	第3分科会で、個別に話をする時間を取っていただけてよかったです。	とても良かった	岡田先生の子どもへの温かい眼差しを感じ、とても勉強になる講義内容で、感銘を受けました。 ケアプログラム、ぜひ受けてみたいと思います。 貴重なお話をありがとうございました。	先に全体講義を聞き、その後それを受けて分科会のほうが、話が繋がって良いかと思います。
10歳代～20歳代	その他	チラシ	良かった	発語に対して気になっていたことが聞けて勉強になりました。	良かった	遊ぶ、食べる、寝ることについて子どもたちにとってどれだけ大切なのか知ることができて良かったです。	
50歳代～60歳	その他	マッチングフェア参加時にチラシを頂いたので	とても良かった	内容が具体的であり、すぐに実践できそうであった	とても良かった	子どもの健康について、遊びの部分で声かけの実例など出していただいたので、わかりやすかった	とても勉強になりました。ありがとうございました。
10歳代～20歳代	保育所	園の申し込み	良かった	日々の保育を見直すきっかけとなり良かったです。	良かった	貴重な話を聞けて良かったです。	
30歳代～40歳代	小学校	職場	とても良かった	今日は、ありがとうございました。もっとお話を聞きたかったです。高校から社会人になる話をもっと聞きたかったなと思いました。対談形式でもうお一人時間配分を考える司会者的な方がいてもよかったのかもしれない。	とても良かった	クリニックのドクターの脳などの話を聞けてよかったです。	今回、2回目の参加でした。来年度も勉強させていただける機会がありましたら参加したいです。ありがとうございました。
30歳代～40歳代	一般参加	家族が職場でチラシをもらってきました	とても良かった	知的障害のない発達障害の子どもをもつお母さんのお話で、もっと聞きたかったです。時間が少ないと感じました。	とても良かった	子どもの発達に関して、学ばなければならぬことがたくさんあると改めて思いました。子どもの健康のため、食事や睡眠を整えることから始めようと思います。	
30歳代～40歳代	一般参加	布施先生のご紹介	とても良かった	分科会3に参加させていただきました。ベアトレは知っていましたが、Tトレは聞いたことがなかったので勉強になりました。週明けから意識してみようと思います。分科会1、2も参加したかったです。	とても良かった	気になる学生を思い浮かべながら講演を聞いていました。 過去の関わりを振り返って考えると、たしかに伝わりにくい言い方になってしまっていたなと思い当たるがありました。	他の分科会の内容もどこかで聞いてみたいなと思いました。ありがとうございました。
50歳代～60歳	保育所	羽生市保育連絡協議会	良かった	これからの保育の見直しが必要なことや、今までやってきた保育も間違っていないことも知れてよかった。	良かった	個々の関わりが大切なことは十分承知ですがクラス運営もすると難しく感じました。保護者にも理解してもらって、家庭と協力出来たらいいかなと思います。	参加されての方を見ると経験年数が上の方が多いかなと思いました。現場に入ってしまうと勉強の場が無くなってしまうので、若い保育士向けに発信出来るような場に出来たら良いのでは？と感じました。
50歳代～60歳	保育所	職員で会場の卒業生もいて、情報を教えていただける	とても良かった	褒める保育の大切さを学びました。普段の保育の中で、どうしても注意ばかりになってしまっている自分を反省しなければなりません。	とても良かった	健康に育つには何が必要なのか。食が大切であること。そして、身体を動かすこと。運動をする。1日に一度は太陽の光を浴びるなど、いろいろなことを学びました。	今回ような研修会は貴重な時間であり、参加させていただき、大変よい勉強になりました。

年代	所属	ツール	分科会について	分科会感想	講演について	講演会感想	その他
50歳代～60歳	保育所	職員に会場の卒業生がいるため、情報を教えてもらえた	とても良かった	褒める保育について、学びました。どうしても、注意ばかりになってしまっている自分の保育を反省しなければなりません。	とても良かった	健康に育つには何か必要なのか。食の大切さ、太陽の光を浴びること、睡眠をとることの大切さなど、いろいろなことを学びました。	このような研修は、とても貴重な時間であり参加できて、よかったです。
50歳代～60歳	保育所	職場の上司からの紹介	とても良かった	子どもを観察する時の視点や関わり方を具体的に聞く事が出来てよかった。	良かった	子どもの発達や、対応する時のポイントを広範囲にわたり、わかりやすくまとめてよかった。資料があり、見直す事が出来るのでよかった。	会場に余裕を持って早く着いた。持参した軽食が取れる部屋があるとよかった。今回初めて参加した。現場で活かせる内容が沢山あり、よかった。
30歳代～40歳代	小学校	セミナー開催のチラシが職員に回覧されたため、知りました。	とても良かった	分科会③「気になる子どもの対応について」に参加しました。私は今、小学校4年生の担任をしています。お話の中にあつた、「こんな子ども、いませんか？」に当てはまる児童が学級の半分ほどいます。毎日困っていますが、今回のセミナーに参加して少し前向きな気持ちになりました。児童の行動に注目し、好ましい行動が増やせるように努力していきます。	とても良かった	子どもの健康と発達について、理解を深めることができました。交流学級に在籍していて特別な教育的配慮が必要な児童生徒がいるのが当たり前になっていることを実感しました。集団生活の約束を一つ一つ話していても、「何で？」「どうして？」と反応する児童がたくさんいますが、伝え方を工夫して指導していきたいです。	
50歳代～60歳	保育所	実習生巡回訪問の際にお知らせいただきました	とても良かった	支援の基本としてのペアレントトレーニングを学び直す事ができました。基本に立ち返る事ができました。少しの変化もみな逃さず肯定的注目の場面を増やせるよう、保育士が心の余裕をもてる環境にしていかななくてはならないとも感じました。常に出来なくとも、研修の内容を頭の片隅に置き保育にあたってもらえるように。全て子ども達の笑顔の為に。	とても良かった	遊びの大切さを改めて感じました。子どもにリードを取らせるためのスキルが分科会ともつながり学びを深める事ができました。医療的立場の先生からのお話がとても参考になりました。	他の分科会も大変興味深いものでしたので受講したかったです。学びの場をありがとうございました。
30歳代～40歳代	保育所	保育園	まあまあだった	意見を聞けたのはよかったが、もっと結論が欲しかった	とても良かった	勉強になりました。	
50歳代～60歳	幼稚園	職場に案内が届いた	とても良かった	具体的な対応や言葉掛けなどがわかり、即実践ができる内容だった。	とても良かった	遊ぶ食べる寝るは、本当に基本であること。神経質発達症の理解、対応など。具体的な実態や実践内容などが、よくわかりました。	毎年、このような研修の場を設けていただき、とてもありがたく思っています。来年も、よろしく願っています。
30歳代～40歳代	放課後等サービス	埼玉純真短期大学様からのお知らせの手紙	少し物足りなかった	当事者の親の話を聞くことができてよかったが、どのような福祉サービスや外的環境に頼って生活をしたり、サポートしてもらったのか、あまり深掘りして聞くことができなかった。	まあまあだった	わかりやすい講演ではあった。	昨年度の研修がよかったです。
50歳代～60歳	放課後等サービス	案内のチラシ	とても良かった	ほめ方や指示の出し方について、具体的な話をたくさん聞くことができ、大変参考になりました。職場で早速、職員と情報を共有し、療育に活かしていきたいと思っています。	とても良かった	小学校教員時代にも講演をしに学校に来ていただきましたが、子どもを観る視点について、いつも学ばせていただいております。今回も、遊びの大切さについて再確認すると共に、やはりどのような関係性を築いて行くかが大切であると思い知らされました。	
10歳代～20歳代	保育所	先生から直接教えていただきました	良かった	頭ではわかっている、実践できていない、する余裕がないあと感じました。少しでも意識すれば変われることもあると思うので頑張ります。	良かった	わかりやすかったです。子どもたちとこれからたくさん遊んでいきたいと思いました。	コロナ前は午前中から学食ありのセミナーだった気がしました。学食体験したいという声も聞かれたので、午前中から行い、分科会にいくつか出られるといいなと思いました。

あとがき

第12回埼玉純真短期大学研究セミナーが皆さまのご協力を得まして無事成功裡に終わることができました。誠にありがとうございました。

今回の研究セミナーは、「これからの特別支援教育を考える」をメインテーマとし、日頃の教職員の研究実践、これまでの経験等を踏まえて、特別支援教育について皆さまと考える場といたしました。各分科会において、皆さまから貴重なご意見をうかがうことができ、さらに私たちの研究が深まったと考えております。また、たくさんの地域の皆さまの参加を得て、多くのことを学ぶことができたセミナーになりました。

本セミナーを開催するにあたり、埼玉県教育委員会、羽生市教育委員会、加須市教育委員会、行田市教育委員会、熊谷市教育委員会、羽生市幼稚園協会、羽生市保育連絡協議会、埼玉県特別支援研究会の皆さまにご後援を賜り、貴重なご指導をいただき感謝申し上げます。さらに、本セミナーの案内等にまでご協力賜り、重ねて感謝申し上げます。

第12回研究セミナー全体会にて講演くださいました医療法人岡田こどもクリニック理事長岡田恭子先生、分科会にて本学教員と対談くださいました群馬県自閉症協会高機能部会ぴゅあクラブ元代表秋元恵利子様に御礼申し上げます。

本学の研究につきましては、日々研鑽を重ねておるところでございますが、このセミナーを機にさらに努力を重ねていく所存でございます。

今後とも地域の特別支援教育の要となり、貢献してまいりたいと考えております。

これからも、ご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

第12回研究セミナー実行委員長 三友玲子

第 1 1 回（令和 5 年度）埼玉純真短期大学研究セミナー報告書

発行日 令和 6 年 1 月 3 1 日

発行者 埼玉純真短期大学

編 集 埼玉純真短期大学研究セミナー実行委員会

連絡先 〒 3 4 8 - 0 0 4 5 埼玉県羽生市下岩瀬 4 3 0 番地

TEL 0 4 8 - 5 6 3 - 0 7 1 1

印刷所 福田印刷所



埼玉純真短期大学